

前芝中学校通信

～校長室の窓から～

豊橋市立前芝中学校

第92号

H29. 3. 24

前芝学校開校元年 生徒の成長の姿に思う



この3月に卒業した3年生が、一年前、卒業式の先輩の姿を見て「自分たちも感動の卒業式を迎えられるように、仲間を大切に、絆の深い学年にしたい」と、誓っていたことを思い出しました。その誓いどおりに、感動の合唱やすばらしい姿を私たちの心に残して、3年生は巣立っていきました。卒業生は、在学中の専門学校や私立高校の入試結果に続き、卒業後に発表された公立入試等の結果もすばらしく、目を見張るものがありました。

そして1、2年生。「3年生を送る会」「卒業式」「生徒会役員選挙」などをとおして、集団として成長し、日常生活でも伸びている姿が見られます。伝統が引き継がれていくのを実感し、嬉しい思いでいっぱいです。素直な前芝っ子だからこそ、伸びていくのでしょう。

「前芝学校」開校元年。生徒たちが『ふるさと前芝を愛する子』『人と人とのつながりをつくる力をもった子』になっていくことをめざし、教育活動を進めてきました。もちろん、この1年だけで、子どもたちがめざす姿になったとは言えません。しかし、1年生も、2年生も目めざす姿に向かって、1年前より確実に成長したと確信しています。

1年生は、中学生になって時間を守り、掃除もしっかりできる落ち着いた生活態度です。月曜朝会への教室から体育館までの移動。先生がいなくともきちんと並んでできる姿になっています。今までの1年生の中でも最高の姿でしょう。挨拶ができ、行事などの『振り返り』を書く力も確実に伸びており、“中堅”学年である2年生になるのが楽しみです。

2年生。今年になり、「登校時間を守ること」や「静かに掃除に取り組むこと」など、あたりまえのこと[凡事徹底]への意識ができるようになり、成長した姿を見せてくれています。これからの前芝学校を引っ張るといふ、2年生の自覚ある態度によることでしょう。



私は、特に、掃除に取り組む姿とともに、「生徒会役員選挙」で感心しました。生徒会役員は定員が6名のところ11名の立候補者が出ました。応援演説の生徒を含めると、45人中22人が体育館ステージに上がり、一人一人が自分の可能性を広げる立派な態度で演説をしました。ほとんど全員が暗記し、堂々と演説をしました。私がさらに感心したのは、演説内容が、生徒会役員になったら

「行事をみんなが楽しめるものにする」「他の中学生と意見交換をしたり、学び合ったりする」という視野を広げる考え、そして、ほとんどの候補者から「掃除を静かで真剣に」「挨拶をよりよく」など、普段の生活を向上させよう、と意見をもっていたことです。

(裏面に続く)

「前芝学校」開校元年、上級学校の生徒として確実に成長した1、2年生の皆さんの姿に、うれしい気持ちと同時に愛おしさを感じます。この生徒たちが「前芝学校」の子のお手本となり「前芝学校」を発展させていってくれると信じています。また、スクラムを組みながら生徒たちの支援・指導に邁進している「チーム前芝」の職員を誇りに思うとともに、保護者や地域の皆様の絶大なるご支援・ご協力に感謝の気持ちでいっぱいです。

次年度もすべては前芝の子どもたちのために、手を取りあって教育活動を進めていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

■人とつながる力■

「前芝学校」の特色、地域ぐるみの教育において、今年度「前芝学校人材支援バンク」を設立しました。ボランティアとして授業などでお世話になった方々に、3月中旬、生徒の手からお礼の気持ちと共に鉢花をプレゼントしました。代表生徒はドキドキしながらも、ボランティアの方のご家庭を訪問し、感謝の言葉を述べました。後日、学校へお礼のお電話やメールをいただき、訪問時の生徒の様子も伝えてくださいました。生徒たちとかかわり、温かな言葉をかけてくださったことで、生徒にもかかわる力を学ぶ場となり、あらためて地域とともに「前芝の子」を育てていると実感しました。

■書く力、考える力■

2年生で、『滞標』に書く生活日記に、“ニュースなどを見聞きし、感じたことを書こう”との投げかけに応えてくれた生徒がいます。そんな中で、 さんは、3月11日の新聞記事を読んで、長い日記を書いてくれたそうです。担任の市川先生は、自分の考えをもったこと、進んで長い文章を書いてくれたことに、感動したそうです。

私がこの記事を選んだ理由は、今日で東日本大震災から6年だし、今ある命が当たり前じゃないということが分かったからです。いつ地震が起こるかわからないし、外にいるときに地震になったらパニックになったりしてどうすればいいかわかんなくなるし、今まで当たり前だったことが当たり前じゃなくなるし、自分の生まれ育った場所が変わり果てるのがいやだなあと思ひます。

自分の命を大切に思えるようになった2つの理由が私にはあります。一つ目は東日本大震災の記事を見て、急に起きて一瞬で命を奪われたことを知って、もし自分が同じ目に遭ったら、どうしようかなど考えるうちに、波に流されるかもしれないとか、とても怖く感じました。今は自分に起こってないから、本当の怖さは分からないけど、想像してみると、すごく怖くなりました。二つ目は、記事には友達が亡くなったとあったけど、突然亡くなるなんて思っていないから、すごく悲しいと思ひます。ツイッターでも、「今ある命が当たり前じゃない」とか「今生きていることに感謝」、「今の生活が当たり前」だと思わないとか、「当たり前」の先には誰かの努力があるなど、たくさん書かれていました。

一つの記事でこんなにも命の大切さを知ることができました。私も今の命をあらためて見直そうと思ひました。そして、これからは、いろいろな人に感謝を忘れずに生きていきたいです。

【部活動の成績】

ハンドボール部：春季東三河大会 準優勝

会場：蒲郡市体育センター

